

月刊びゃっきープレス

byacky press

2010

5 月号

毎月初回ライブ日発行

無料配布

↑あたりまえ

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

シンプル

2010 年 5 月 28 日(金)

ゆーじ×びゃっきー
共同企画「シンプル」
@阿佐ヶ谷 Next Sunday
お待ちしております

問合せ : byacky@satram.jp

二回目の企画ライブは 共同開催で



ゆーじ×びゃっきー共同企画「シンプル」が2010年5月28日金曜日に阿佐ヶ谷ネクストサンデーで開催される。なああな仲良し企画とは違い、お互いに刺客を送りあう、ガチのデスマッチ企画。気合もテンションもボルテージも最高潮である。ボルテージって何? タイトルと全く内容が合っていないこの企画、いや、そんなことないかな。乞うご期待!!

5月28日開催 「シンプル」

びゃっきー二度目の企画は、音楽仲間ゆーじとの共同企画となった。共通の知り合いで素晴らしいミュージシャンはいるのだが、内輪な企画になるのを嫌ったため、お互い相手の知らないミュージシャンをゲストに呼ぼうじゃないかという事で、話が進んだ。いくつもの死線をとともに潜り抜けてきた戦友だけに、気持ちは一つである。「戦友」と言うの

びゃっきーの蒙古タンメン 中本個人的レビュー

・蒙古タンメン
おいしく食べられる辛さ。これがオススメ。

・五目蒙古タンメン
上記の蒙古タンメンになんか辛い肉が乗っている。食える範囲ではあるが、このレベルで既に勝負辛い。食後、家に帰って横になれるなら食べてもよい。

・蒙古卵麵
個人的に北極と変わらない辛さ。異常。

・北極
食べ物ではない。赤い砂と油を眺める、飾り物。スープまで完食すると、命の危険がある。

戦場その2 某カレ屋
豊田にある某カレ屋でライブをしたこともあった。店が非常に狭く、おそら

戦場その4 某飲み屋
これは番外編とも言うべきライブだった。メンバーが足りないから出てくれと

それ以外にも戦場はあったが、こころへんで止めておこう。このような戦場を駆け抜けたゆーじとびゃっきーが、今回は自分たちの企画でその成長をお見せする。楽しみにしていただきたい。(びゃっきー)

戦場その1 某カフェ
ゆーじとオレが始めて出会ったのは、池袋にある某カフェでのライブの時だった。拾ってきたアンブレを組み合わせてPA周りを用意すると言う超手作りライブで、音が出なかつたりなんだから、準備から本番まで、かなり緊張を要したライブであった。この後、この戦場では幾度もライブが行われることとなる。

戦場その3 某図書館
某図書館でホールを借りてライブをやったこともあった。このホールは割と広く、たくさんの方が入れそうだったため、お客さんを100人呼ぼうという意気込みだったが、あまりお客さんが集まらなかった。

戦場その4 某図書館
某図書館でホールを借りてライブをやったこともあった。このホールは割と広く、たくさんの方が入れそうだったため、お客さんを100人呼ぼうという意気込みだったが、あまりお客さんが集まらなかった。

はいささか大きすぎではないか、という意見もあると思うので、ここで、ゆーじとオレとの主な戦場(イベント)の数々を紹介しようと思

先にもあれ一回だろうと思われ。びゃっきーボードがお客さんのカレと隣接しているような状況(右図参照)でのライブであった。

当日に電話があった。たまたまびゃっきーボードを友だちにレンタルしてしまっていたため「ギタ」で良ければ出るが」という今では考えられない恐ろしい引き受け方をした。そしてゆーじも当日に誘われたという、一体どんな準備の仕方をしたらそんなことになるのか、スゴイライブだった。しかも店が異常に狭く、どのみちびゃっきーボードは店からはみ出てしまったであらう狭さ。運悪く土砂降りの雨に遭遇し、辿り着くまでに全員がビショビショという、非常に困難を極めたライブであった。

